

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年8月19日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次 3日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	品川区	代表者名	濱野 健
担当者部署	企画部情報推進課情報戦略担当	連絡先電話番号	03-5742-6031
担当者役職	主査	担当者氏名	菊地
住所	140-8715 東京都品川区広町2-1-36		
連絡先E-mail			

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	宮崎 昌美
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	今後の社会の動向や他自治体での事例紹介なども踏まえた説明を行っていただき、DXの必要性を参加者に伝えていただいた。 また、宮崎氏が公務員としての経験もあるため、行政がDXを進めるうえでの問題点なども的確に説明をしてくださった。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和4年8月2日	講演(実地)	有	令和4年6月20日	161
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和4年8月19日	講演（実地）	9時30分	16時30分	90
				活動時間（分）	330
3-2. 派遣場所	会場名	中小企業センター	最寄駅	大井町駅	
	所在地	品川区西品川1-28-3	最寄駅からの交通手段	徒歩	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	65人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	区全体としてDXを推進していくにあたり、職員一人一人の意識改革	
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）		
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	研修をとおりして、DXを推進する必要性を理解する。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	DXの必要性。DXの基本的な説明	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	DXを推進するための意識改革	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	なし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 報告書の締切日(研修実施から2週間)にアンケートの集計が間に合わないため、アンケート集計後送付する。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	今年度のデジタル人材育成については、あらゆる視点で進めていく。	

未記入のセルがあります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認ください。
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



